

## 【注意事項】

e<sup>2</sup> studio,

## CS+用 RX ファミリデバイス依存情報

## 概要

e<sup>2</sup> studio および CS+用 RX ファミリデバイス依存情報の使用上の注意事項を連絡します。

1. RX113 グループ使用時の I/O レジスタの表示と書き込みに関する注意事項

## 1. RX113 グループ使用時の I/O レジスタの表示と書き込みに関する注意事項

## 1.1 該当製品

- e<sup>2</sup> studio V5.3.0 以降
- CS+用 RX ファミリデバイス依存情報 V2.00.00 以降

## 1.2 該当 MCU

- RX ファミリ : RX113 グループ

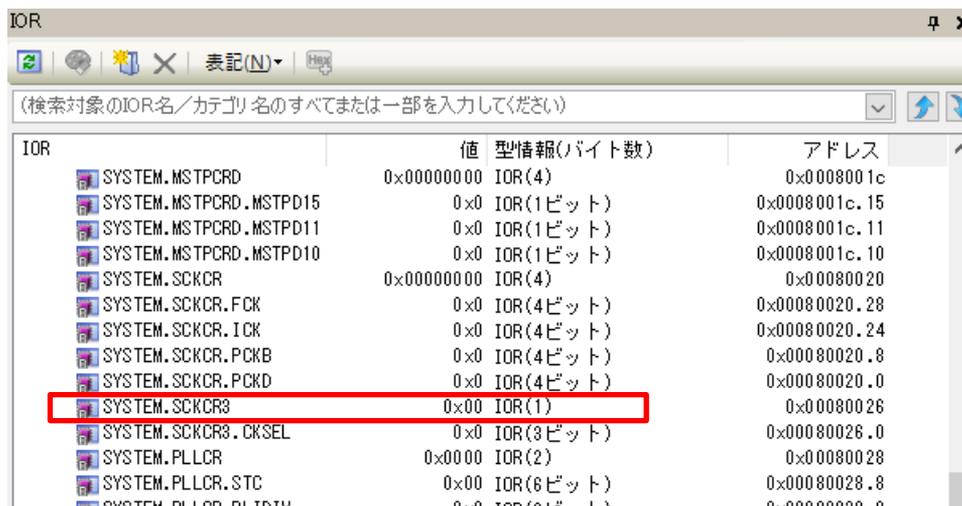
## 1.3 内容

CS+の IO パネルとウォッチパネル、および e<sup>2</sup> studio の IO ビューにおいて、以下の I/O レジスタを表示した場合、値が正しく表示されず書き込みもできない場合があります。

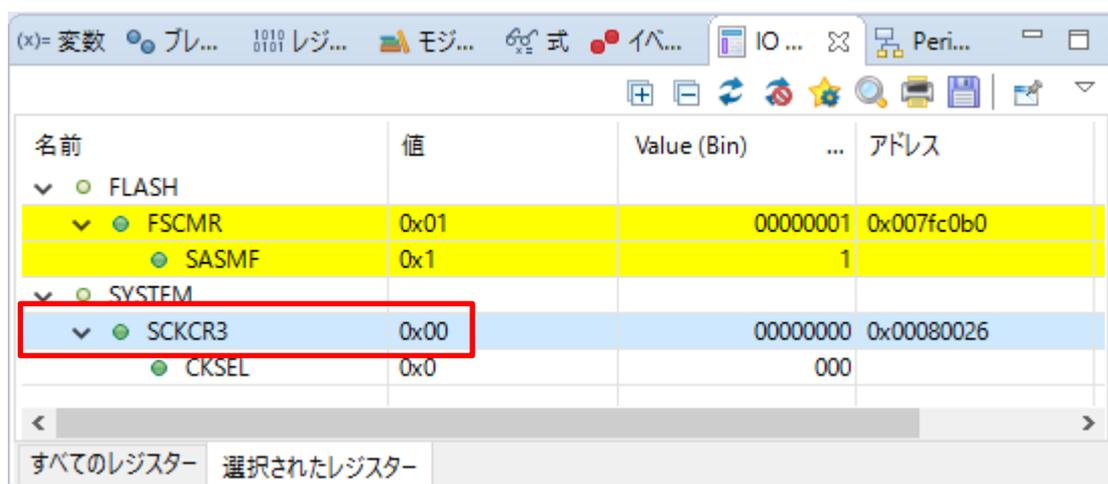
- 対象 I/O レジスタ : 以下の 13 の I/O レジスタ (赤枠内)

モジュール名	レジスタ名	アドレス	レジスタ サイズ	R/W	期待値例	表示例 CS+ : IO パネル/ウォッチパネル e <sup>2</sup> studio : IO ビュー
CTSU	CTSUSCC	000A 0912h	16bit	R/W	0x0F00	0x00
FLASH	FSCMR	007F C0B0h	16bit	R	0x7F00	0x00
POE	OCSR1	0008 8902h	16bit	R/W	0x0300	0x03
POE	ICSR3	0008 890Eh	16bit	R/W	0x0200	0x02
SYSTEM	SBYCR	0008 000Ch	16bit	R/W	0x8000	0x00
SYSTEM	SCKCR3	0008 0026h	16bit	R/W	0x0100	0x00
SYSTEM	CKOCR	0008 003Eh	16bit	R/W	0xF700	0x00
USB	INTENB0	000A 0030h	16bit	R/W	0xFF00	0x00
USB	PIPE1TRE	000A 0090h	16bit	R/W	0x0300	0x00
USB	PIPE2TRE	000A 0094h	16bit	R/W	0x0300	0x00
USB	PIPE3TRE	000A 0098h	16bit	R/W	0x0300	0x00
USB	PIPE4TRE	000A 009Ch	16bit	R/W	0x0300	0x00
USB	PIPE5TRE	000A 00A0h	16bit	R/W	0x0300	0x00

CS+での不正表示例：  
SCKCR3 が 0x00 と間違っ表示される。



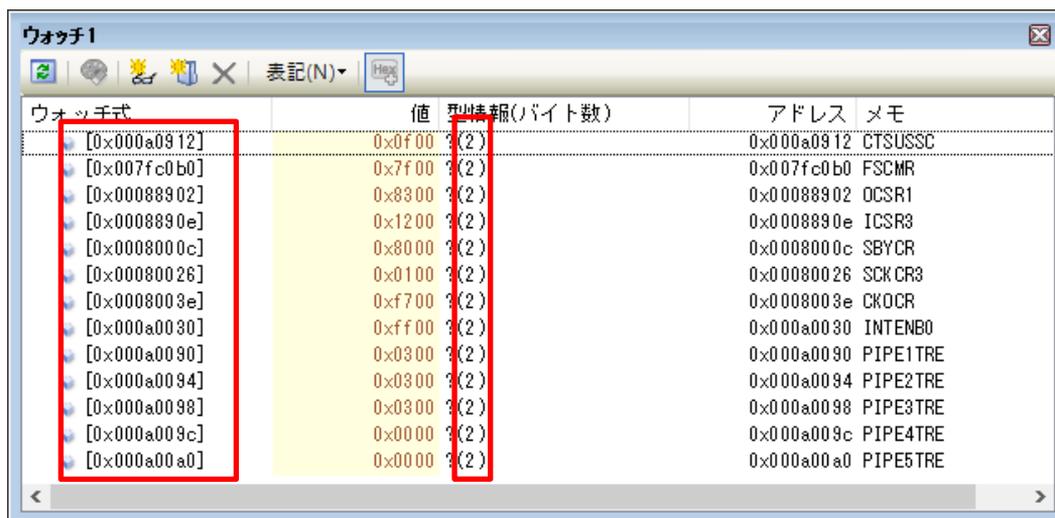
e<sup>2</sup> studio での不正表示例：  
SCKCR3 が 0x00 と間違っ表示される。



## 1.4 回避策

### 1.4.1 CS+

レジスタのアドレスをウォッチ式 ([ ]付き) で登録し、サイズ表記を“2 バイト”に設定してください。  
 なお、表示は正しくなりますが、書き込みはできません。

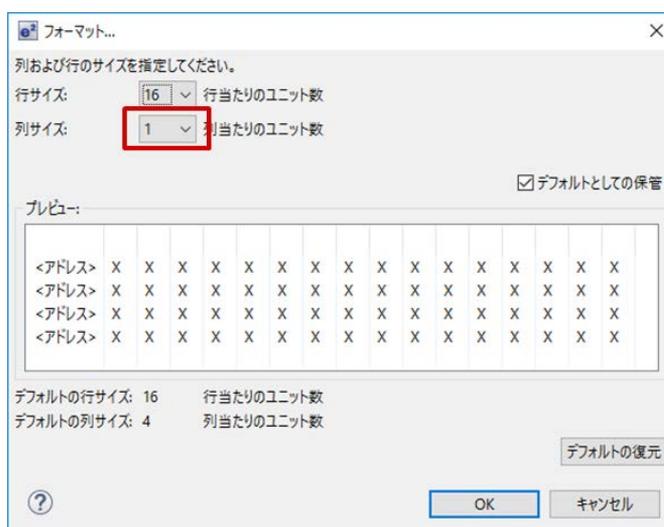


### 1.4.2 e<sup>2</sup> studio

メモリビューにおいて、1 バイト単位で値を表示<sup>(注)</sup>し確認してください。

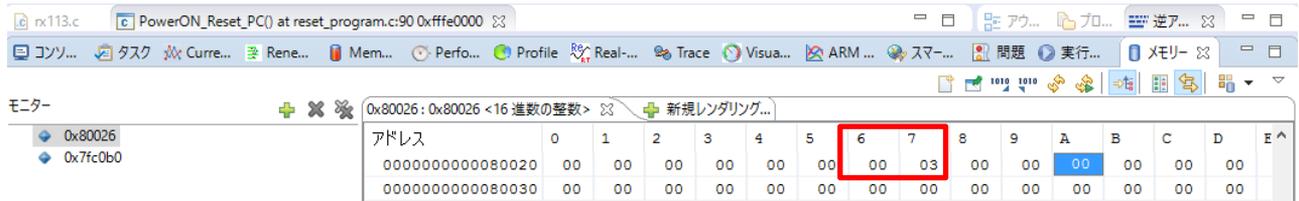
なお、書き込み可能ですが1 バイト単位でのアクセスになります。

注：メモリビューで右クリック→[フォーマット]で表示される以下ダイアログにおいて、列サイズを1に指定します。



FSCMR、OCSR1、ICSR3 の I/O レジスタの値はこの方法で確認できます、他の I/O レジスタはアドレスの並びが逆になります。

例えば、SCKCR3 レジスタであれば 0x00080026 と 0x00080027 のメモリビューの表示は以下のようになります。このとき SCKCR3 レジスタの値は 0x0300 になります。



## 1.5 恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。

以上

## 改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.04.16	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先

<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。